

「ドイツのヘイトスピーチ対策と その特徴—歴史・現状・未来」

日本における多文化共生社会の実現を阻むものとして、在特会等による人種差別的言動が大きな社会問題となっている。在日コリアンに対するヘイト・スピーチは、彼らの生命・身体に対する危険を引き起こし、看過できない深刻な状況を作り出してきた。そうした中で、昨年5月にヘイトスピーチ対策法が成立し、先進的自治体などにおいて、その趣旨を踏まえた運用がようやく開始したばかりである。

第二次世界大戦後、「人間の尊厳」を基本法の根本に規定したドイツでは、ヘイトスピーチに対してどのような取り組みを行ってきたのか。本年度の年次大会ではドイツの研究者をお招きし、その歴史・現状・未来を語っていただく。通訳は、日本におけるこの問題の第一人者である金尚均教授が担う。

日時:2017年4月8日(土) 14時~17時

場所:名城大学・天白キャンパス 10号館2階大会議室

地下鉄名城線塩釜口下車1番出口右へ徒歩4分で正門へ
正門から坂を徒歩5分(名古屋市天白区塩釜口1-501)

参加無料・要申込み

資料代:500円

資料の準備のため、参加される方は、チラシ下記まで事前申し込みをお願いいたします

プログラム

14:00 開会・あいさつ 近藤 敦 会長(名城大学法学部教授)

14:10 基調報告 金尚均(龍谷大学法科大学院教授)

14:20 講演

テーマ1:「『帝国市民』という新たな問題—ドイツ基本法の制定に照らして」

ヨヘン・フックス(マクデブルク単科大学教授)

テーマ2:「ドイツにおけるポピュリズムと排外主義」

マクシミリアン・フォーアマン(ブレーメン大学研究助手)

通訳:金尚均(龍谷大学法科大学院教授)

17:00 終了



主催:名古屋多文化共生研究会(NAMS)

事前申し込み・問い合わせ先:名古屋多文化共生研究会 E-mail:aberyogo@aecc.aichi-edu.ac.jp
件名に「NAMS大会参加」と明記のうえ、お名前・ご所属・連絡先をお知らせ下さい。

会場案内図

<名城大学・天白キャンパス 10号館 2階大会議室>



詳細は名城大学ホームページをご覧ください。

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tenpaku/>